

## 企業誘致の取り組みについて



答弁

**新産業団地の対応は来年度に組織編成の準備を進めている**

取りまとめを行っている中で、基盤施設インフラの整備が不可欠であり、部門横断的な体制を庁内に構築し、具体的な地区を決定していくことになる。

議員

昨年5月に一般質問で提案した千葉市の産業用地整備の調査結果を伺う。

都市建設部長

市と民間開発事業者が連携して産業用地の整備を進めて、市はインフラ整備の負担金を支払うことで、民間開発事業者が整備期間の短縮と総事業費の圧縮により、効率的な事業が可能になっていた。

議員

当市でも、千葉市の手法を取り入れてできないか。

都市計画課長

産業用地開発は、市主体の開発ではなく民間と連携した産業用地整備を行っていく必要がある。今後検討していく。

議員

当市における新産業団地創出基本計画を基に今後の取り組みを伺う。

都市建設部長

新産業団地創出基本計画書の

## 水海道中学校「夜間学級」の教育目標実現に向けて



答弁

**今年度の課題や実績数値等を整理し、積極的な支援を実施する**

や備品等の整備については、不自由、不便なく補っているのか。

教育部長

運営費として夜間中学経費を計上し、文部科学省の補助金及び市外から通う生徒が在住する自治体からの負担金などを財源の一部として進めているが、既に備品購入費や消耗品費が不足している状況である。

議員

夜間学級の教育をより充実し、夢を応援する学校としての取り組みが見えるようにするためにも、次年度以降を見据えた市としての支援策について伺う。

学校教育課長

生徒数の増加に伴う学習環境の整備として、備品、消耗品類の確保に向けた財政的支援は必須である。また、入学希望者や各自治体などに本市の夜間学級を引き続き情報発信していく。

議員

よりよい教育環境を提供し、夜間学級の確かな教育と実践を、どこにでも胸の張れる常総市教育の柱にしていきたい。

議員

インフラ整備は重要であり、計画書を見た所、地区の地権者の賛同は60%以上を占めているので良いと思う。次に県が未来産業基盤強化プロジェクトとして圏央道のつくば西の周辺で具体的な計画がある9市町村とヒアリングしている段階と県産業基盤課が答えているが、当市は千葉市の手法や新産業団地創出基本計画書も作成し検討しているので、産業誘致のプロジェクトを発足すべきと提案する。

市長

アグリサイエンスバレー構想の次の一手として、推進プロジェクトだけでなく、組織体制の中でしっかりと県と連携し、新産業団地を構築する組織編成を行った上で、来年度強力に進める準備を行っている。